

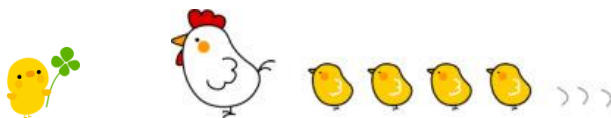
◎3月4日(日)開催 第3016回例会
単独例会/ヒヨコ全縦トレーニング・パートⅡ
「宝塚から六甲山へ逆縦走」の報告

報告文：吉野 宏

写真：松本 良一(布引) 勝田 徹(旗振)

3週間後に第52回目を迎えるヒヨコ登山会の六甲全縦本番。長い歴史を引き継いで40数年が経つ。会員の高齢化が進み、ベテラン会員の参加も減少してきた昨今ではあるが、半面新しい会員の加入によって過ってのヒヨコパワーが若干なりとも蘇ってきたことは大変喜ばしいことである。

そんなことも含め今一度原点に戻って、より細かな計画を立て実行に移そう!・・・と乾・川崎・北島3副会長並びに林・奥両委員を含め、総務委員会の中で問題提議を頂き、そして決議。試行錯誤しながら実行・反省のサイクルを行いやってきた。2回に分けて行うトレーニング会も然り。後半のトレーニングは宝塚からの逆縦走の提案をして実行することにした。



新人パワーでがんばるぞ～!

阪急宝塚駅8時30分集合。

逆走なので参加は少ないだろう?と思っていたが、47名の参加を得た。最近の男女の例会参加比率は30%対70%。今日の参加は40%対60%。ここでも女性の元気さが勝っていた。



大平山の分岐にて(昼食タイム)

駅前にて諸注意を行った後、出発。宝塚駅の標高は僅か30メートル余り。六甲最高峰が931メートルなので、約900メートルを登ることになる。トレーニングとしては申し分?なし!である。

塩尾寺までの車道は下っても登っても、シンドイ道。小生がトップを歩き、落ちこぼれの無いように、間の開かぬように調整しながら歩くよう心がけているつもり?だが・・・。砂山権現からが逆縦走本番の始まりである。岩倉山～譲葉山～岩原山の裾を過ぎ、大谷乗越で本日コースの約4分の1が終了。ここから大平山までの登りは短いが急登。大平山頂681メートルの手前の縦走分岐で昼食タイム。650メートル登ったことになる。



笹原峠にて(まだまだ元気?)

いつものことながら、労働?の後頂く食事は、何を食べても美味しいものだ。自分もそうであるように、後半戦へのエネルギーが一気に増える。

船坂峠を越えて滑りやすく足場の悪い登りをクリアすると、間もなく少し開けた笹原峠の縦走ポイント場所へ出る。神戸市が行う縦走のボランティアでは、兵庫県山岳連盟からの要請で、東六甲分岐から宝塚ゴールまでの各ポイントをヒヨコの元気な会員諸兄で守って頂いているが、ここ笹原峠～船坂峠間が一番事故の起こりやすい場所であり、それだけに神経を使う所でもある。この場所へ昨年より新しく加わってくれているK・Kさんは女性会員であり、ここでもヒヨコ女性のパワーを発揮して頂いている次第である。(お手伝い可能な男女会員さん。よろしく!)

笹原峠から東六甲分岐点までの標高差が約200メートル有り、しかも同じ様な足元の悪い登山道の繰り返しで、ええかげんうんざりするが登るしかない！・・・・

・・・・やっとの思いで東六甲分岐点に到着。ここまで来ると後は降り主体の登山コース。一息も二息も入れて頂き、食べるもの、飲むものを口に入れてお互いに「ご苦労さん！」と健闘を称えあう光景にヒヨコの仲間意識を垣間見ることが出来た。



東六甲分岐点にて（結構しんどかったね！）



東六甲分岐点にて（お互い健闘を称えあう？）

一軒茶屋からは、トレーニングの対象にはならないだろう？と勝手な判断。本来なら、～極楽茶屋跡～六甲ガーデンテラス～ゴルフ場を経て～記念碑台から摩耶山掬星台へ。～天狗・稲妻坂を下って市ヶ原から新神戸へ降りるのが本筋だが、極楽茶屋跡～六甲ガーデンテラス～ゴルフ場を経てケーブル山上駅手前から油コブシを降るコースに予定変更。皆さんの嬉しそうな？お顔を拝見して、判断に誤りなし！！と勇んで歩いたので

あった。皆様、大変お疲れさまでした！



六甲山上方面へ向かうヒヨコトレーニング隊！

天 候 晴れ

担 当 例会・自然保護委員会

参加者 47名（内当会員45名）